

平成28年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	サントミュージゼ機関誌「SANPOMYUZE」制作による文化振興事業
事業主体 (連絡先)	上田市 (上田市交流文化芸術センター) TEL: 0268-27-2000
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,998,000 円 (うち支援金: 1,498,000 円)

事業内容

交流文化芸術センターの活動として音楽、演劇、ダンス、美術品展示、子どもの創造育成など数多くの事業を展開している。この事業を行うだけでなく、記録し、発信していくことで、公演を鑑賞できなかった方々へ向け、それら活動内容の発信継続と蓄積があって初めて、次世代への文化顕彰となっていくものである。これらの達成の為にインターネットなど環境を選ぶ媒体ではなく、いつでも手に取れる紙媒体としての機関誌の制作が必要となる。取材による高品質の写真やレポートにより文化事業を臨場感のある記録として保存することができる。



【 実行委員会との共催によるマチマチフェスティバル】

【目標・ねらい】

- ①地域アーティストを広める
- ②住民とアーティストの交流
- ③市民参加でつくる芸術
- ④住民主体のまちづくり
- ⑤民間施設との連携

※自己評価【 B 】

【理由】

住民とのかかわりを多く取り上げることの波及効果として、機関誌 SANPOMYUZE が SNS で拡散されるなど、親しみやその知名度の拡大に影響を与えることが出来た。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 表裏紙絵に上田市内在住の画家白井ゆみ枝氏に書下ろし絵を依頼。地域に根差すアーティストの作品を全国へPRした。
- ② P2-3 お！さんぽミュージゼでアーティストと地域の方の交流からその地域の魅力を掲載。見落としがちな地域の魅力を引き出した。
- ③ P8-9 で市民参加演劇公演を取材し、地域で生まれる芸術の姿を特集。芸術を生み出す主役が住民自身であるという意識を生み出した。
- ④ P17 で実行委員会とつくりあげた地域での音楽イベントの姿を特集。地域で生まれるイベントの継続を、サポートできた。
- ⑤ P19 には市内にできた民営劇場代表にコラム寄稿を依頼。文化拠点として行政と民間の連携の姿を印象付けられた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

住民参加の文化事業に対して、住民自らが体験した文化とのかかわりについて、機関誌を情報媒体として発信してもらおう。上田市の進める文化の薫るまちづくりを、機関誌を核とした住民との共同での情報発信事業として進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある